

「食品の味覚、機能を見える化し、 新たな市場を創造する。」

自社商品の美味しさを数値化できたら分かりやすいと思いませんか？ 今回のセミナーでは、味覚分析を活用し、他社との差別化や消費者に合わせた商品開発を行った事例を紹介いたします。

また、事例から機能性表示食品の現状と課題を検証し、商品開発から販促まで、機能性表示を武器に商品を売るためのポイントを解説いたします。

日時 平成30年9月28日(金) 13:30~16:40

場所 万代島ビル11階 会議室 (新潟市中央区万代島5-1)

定員 80名 無料

第1部 13:30~14:50

「商品の美味しさを見える化して、新たな市場を創造する！」

講師：上野 晃治 氏

(株)大広 東京アクティベーションデザイン
ビジネスユニット第2営業局第1部 部長

- 概要説明
- ケーススタディー
B to C、B to Bメーカー事例
- メニュー紹介
- 質疑応答 (20分)

第2部 14:50~16:10

「消費者が買いたくなる、機能性表示食品の作り方」

講師：武田 猛 氏

(株)グローバルニュートリショングループ
代表取締役

- 制度の概要と現状
機能性表示食品制度・申請必要事項の概要
現状と課題
- ケーススタディー
B to Cメーカー事例紹介
- 質疑応答 (20分)

第3部 16:10~16:40

個別相談会

※事前にご予約ください



申込方法：裏面の参加申込書にご記入の上、FAXでお申込ください。

申込締切：平成30年9月21日(金) ※定員に達し次第締め切ります。

主催：一般社団法人健康ビジネス協議会

(担当：事務局 大上 TEL:025-246-4233)